

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

令和5年度(2023年度)

法人名	NPO 法人ワーカーズ コープかがやき	代表者	前島 修史	法人・事業所の 特徴	「わが家で暮らし、わが家で老いる」を基本に、ご利用者様ご家族様の意向をくみ取りスタッフが関わりを多く持ち、個別ケア対応で支援させていただきます。ご利用者様の変化に気づき対応できるようスタッフ間の連携を図り情報共有に努めています。施設内ご利用者様が「居場所」「役割」を意識できるよう、居心地の良い場所の提供を心掛けて取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 たわわ善光寺下	管理者	片岡 茂子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	2人	人	人	1人	人	人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に改善できそうな事に絞り、現時点で実行可能でかつ必要な事を項目ごとに改善計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ている点も多くあり年数を重ねる中で再度繰り返し確認していくことが大事。</li> <li>・出来なかったことを認識して、今後も引き続き評価目標にしていく項目がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ以降地域の交流が減り地域のことも情報がなくなりづらい状況になっているが、運営推進会議や地域ケア会議で情報収集に努めていきたい。</li> <li>・評価ミーティングは事業所の評価を客観的に考えて反省の機会と今後も前向きに捉えていきたい。</li> <li>・ミーティングやカンファレンス等の開催は必要最低限の回数は継続していくよう努力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点で実行可能で、かつ、改善必要な事を具体的な計画にする。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく元気に過ごしていただけるように、全スタッフが接遇に気を配る。</li> <li>・室内で過ごす時間が長いので、利用者さんにとって居心地が良い居場所の提供をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者さん家族や地域のボラさん、他事業所関係者含め外部からの人の出入りに関しては感染状況を見ながら緩和してきている。</li> <li>・臭いに関しては換気も含め排泄処理等スタッフ全員で充分気をつけている。</li> <li>・利用者同士、スタッフとの会話が多くの席ならび等工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ快適な環境は維持している。</li> <li>・担当者を中心に季節を感じる壁画等工夫して殺風景にならない様にしている。</li> <li>・今年も外出がなかなかできなかったので皆で関わりながら作品作りを楽しみました。</li> <li>・送迎車や駐車場の使い方も注意しながらやっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所周辺の清掃やガーデニングを行う。</li> <li>・日中多くの時間を過ごすフロアに季節感を出していく。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍充分注意して地域の方の訪問やボランティアさんの来所を徐々に増やしていく。</li> <li>・単独支援困難な場合は利用者さん担当の地域包括支援センターと連携を取りながら支援をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターとの連携を強め困難事例や虐待事例等積極的に関わり対応をしていくようにしている。</li> <li>・地域の行事が徐々に再開しているので、状況を見極めながら地域との関りを強めていきたい。</li> <li>・昨年5月以降近所の方の見学希望・相談が多くなってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前のように短時間でも外に出てメリハリのある生活を送れるように支援していきたい。</li> <li>・外のベンチには時々通行人が座って休んでいるので、今後もきれいにしながら開放していく。</li> <li>・外部からの刺激は必要なので通年通しての受け入れる態勢に戻したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方の訪問やボランティアさんの受け入れをしていく。</li> <li>・単独支援困難なケースは利用者担当の地域包括支援センターと連携して支援をしていく。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馴染みのある近隣の地域に出かけていき買物・外食・散歩等行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩は天候を見ながら近隣を短時間少人数で行った。良い気分転換になっている。</li> <li>・外食に対しては新型コロナウイルス感染拡大の期間が長く実施できなかった。</li> <li>・利用者さんはたわわ利用で家を出ること自体が良い刺激になっているので、通院以外の外出先との位置づけになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の方に見守りや訪問をお願いしても介護サービスに関わりだすと関係が希薄になる様に思う。</li> <li>・コロナ禍以降、積極的な地域との関りがなく、利用者ご家族スタッフ共内々で落ち着いてしまっている。</li> <li>・ご近所の高齢ご夫婦の様子は常に気にかけている。昨年11月に奥様が入所しご主人が独居になったので時折訪問したり、外出の帰宅時施設に寄ることもあるので安否確認をしている。継続したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防に留意しながら以前の生活に戻るよう工夫をしている。</li> <li>・馴染みのある近隣の地域に出かけていき、買物・外食・散歩等行う。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議時、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。</li> <li>・地域の情報収集の場しながら、何か支援できることがあれば協力していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の報告でたわわの運営・利用状況は報告している。</li> <li>・地域の役員さん（民生児童委員）から包括支援センター職員に相談しているケースは共有できている。</li> <li>・運営推進会議の提案や意見は定期ミーティングやスタッフ同士の会話の中で話題にして、今後に活かせるよう改善に繋げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の開催は通年通りになり、情報共有も少しずつ多くなってきた。</li> <li>・当事業所のサービスに何らかの理由で繋がらなかった場合は近隣の他事業所（小多機・看多機）を紹介して情報提供をしている。が、今年度はどこの事業所もスタッフ不足があり希望通りの利用に繋がらないケースも数件散見された。今後も起こりうることかと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議時、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。</li> <li>・地域の情報収集の場しながら、何か支援できることがあれば協力していく。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP（事業継続計画）の研修会等で全スタッフの意識統一を行う。</li> <li>・災害時における地域の支援体制の確認を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP 対策策定完了した。</li> <li>・スタッフの学習会を開催した。</li> <li>・自火報、非常ベル、スプリンクラーの使用方法を全スタッフが周知しておく必要があるため、スタッフの勉強会を行った。</li> <li>・座学での確認学習は行ったが利用者さんを含んでの移動を伴う訓練はコロナ感染予防の観点から今年度も行えていない。</li> <li>・BCP のための備品（食材・水・暖房器具・発電機・非常用トイレ・寝具等）確保はできている。今後は担当者が中心になって年1回以上の点検見直しを行っていきたい。</li> <li>・災害時事業所が地域にどのような支援が出来るのか、検討していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との協力体制も考えていかないといけないと思うので、地区役員さんと連携を取っていくことが今後の課題。</li> <li>・避難訓練はいざという時大事なので定期的に行うようにしていく必要がある。今後は夜間想定での訓練を計画し実施していきたい。</li> <li>・夜間の災害時はスタッフが少ないので避難できるのか？不安はある。地域の協力体制を構築していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP（事業継続計画）研修会等で全スタッフの意識統一を行う。</li> <li>・災害時における地域の支援体制の確認を行う。</li> </ul>

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週 32 時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）			
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい			
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？			

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ・「居場所」として意識して頂けるような工夫をする			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？			
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？			
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？			
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？			

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ <hr/> <b>【前回の改善計画】</b> ・スタッフ共に地域に出る。 近隣の散歩・買物等外に出る。 ・地域に提供する場所を作る 歩行中の方がお休みできるよう施設前にベンチを置き利用していただく。			
1	職員はあいさつできていますか？			
2	事業所は、地域の方に知られていますか？			
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？			
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？			

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ <hr/> <b>【前回の改善計画】</b> ・近隣の散歩・買物・外食等地域に出る機会を多くする。			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？			
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？			
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？			
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？			

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ・運営推進会議の中で地域関連の事例を話し合う時間を設け情報の共有に努める。			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？			
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？			
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？			
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？			

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ・防災計画を立て年2回避難訓練を実施する。			
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？			
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？			
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？			
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？			

以上で終了です。ありがとうございました。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	6		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	6		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・ミーティングはスタッフ全員参加で定期的に行っている。場合により常勤者会議担当者会議も設けてできるだけ話し合いの場を多くしている。
- ・自己評価は個々の意見がでるので話し合い中に「気づき」があつてよい。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・日々の業務に追われる中、評価内容を常に意識していくことは難しいがレベルアップ・レベル維持のためには必要な事との認識はある。
- ・出来ている点も多くあり年数を重ねる中で再度繰り返し確認していくことが大事。
- ・出来なかったことを認識して、今後も引き続き評価目標にしていく項目がある。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・改善点を出し合いそれを良い機会と捉えて意識共有することに個人評価の意義がある。
- ・どこまで改善できるかわからないが、改善すべき点を意識しながら業務をしていきたい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・ミーティングやカンファレンス等の開催は必要最低限の回数は継続していくよう努力する。ミーティングでの共有はケアの質・レベルを統一するために必要かつ大事なことだと思う。
- ・コロナ以降地域の交流が減り地域のことも情報がなくわかりづらい状況になっているが、運営推進会議や地域ケア会議で情報収集に努める。
- ・評価ミーティングは事業所の評価を客観的に考えて反省の機会と今後も前向きに捉えていきたい。

【改善計画】※後日記入

- ・現時点で実行可能で、かつ、改善必要な事を具体的な計画にする。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	4		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・常にスタッフが対応するので出入りはしやすいと思う。今年も消毒に気を配り、来所者名簿を記入していただいた時期もあり、手間や時間がかかり大変だった。
- ・利用者さん家族や地域のボラさん、他事業所関係者含め外部からの人の出入りに関しては感染状況を見ながら徐々に緩和してきている。
- ・日中は玄関の施錠はしていない。気候の良い頃は換気も兼ねながら玄関ドアを開けている。
- ・臭いに関しては換気も含め排泄処理等スタッフ全員で充分気をつけている。
- ・利用者同士、スタッフとの会話が多くできるように席ならび等工夫している。

【前回の改善計画】

- ・明るく元気に過ごしていただけるように、全スタッフが接遇に気を配る。
- ・室内で過ごす時間が長いので、利用者さんにとって居心地が良い居場所の提供をしていく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・家族の訪問や新規利用者さんの見学等徐々に対応をしている。今後も感染症のレベルや法人の指針等を考慮して対応していきたい。
- ・スタッフの接遇研修はプライバシー保護・倫理・拘束の禁止・虐待防止等の研修とともに毎年実施している。忘れてたり意識がいかなくなったりと反省しながら行っている。
- ・担当者を中心に季節を感じる壁画等工夫して殺風景にならないようにしている。今年も外出がなかなかできなかったのが皆で関わりながら作品作りを楽しんだ。
- ・排泄物の処理については以前からスタッフ全員が決められた方法で行い気をつけている。
- ・臭いは室内にいると気づかない事が多いので通年通して空気清浄機や空調換気を行い室温・湿度のチェックをして記録に残している。
- ・コロナ禍の生活がまだしばらく継続することを見据え改善点は継続対応にする。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・事業所周辺の清掃やガーデニングを行う。
- ・日中多くの時間を過ごすフロアに季節感を出していく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		1
1	職員はあいさつできていますか？	6		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3		3
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3		3
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	2		4

**【上記5つのチェック項目に関する意見】**

- ・来所者の方に対してはスタッフから挨拶をするようにしている。
- ・地域包括支援センターとの連携を強め困難事例や虐待事例等積極的に関わり対応をしていくようにしている。
- ・地域の行事が徐々に再開しているので、状況を見極めながら地域との関りを強めていきたい。
- ・昨年の5月以降近所の方の見学希望・相談が多くなってきている。

**【前回の改善計画】。**

- ・コロナ禍充分注意して地域の方の訪問やボランティアさんの来所を徐々に増やしていく。
- ・単独支援困難な場合は利用者さん担当の地域包括支援センターと連携を取りながら支援をしていく。

**【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】**

- ・日々の業務が施設内で完結することが多かったが、今後は外出も含め地域への関りを多くしていきたい。
- ・個人的に地域のラジオ体操や老人クラブ、認知症カフェに参加している方はいるが、スタッフがお手伝いする必要は今のところなく、ご本人、ご家族対応でできている。
- ・買い物支援の希望もご家族から無く、ご利用者さんも外出に対して消極的になっていたが、以前のように短時間でも外に出てメリハリのある生活を送れるように支援していきたい。
- ・外のベンチには時々通行人が座って休んでいるので、今後も開放していく。
- ・地域ボランティアさんの受け入れは感染状態が少し落ち着いた春・秋に対応。その後頃合いを見て数回実施。外部からの刺激は必要なので通年通しての受け入れる態勢に戻していきたい。

**【改善計画】※後日記入**

- ・地域の方の訪問やボランティアさんの受け入れをしていく。
- ・単独支援困難なケースは利用者担当の地域包括支援センターと連携して支援をしていく。



D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3		3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	1	1	4
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議で地域の方の事例が包括支援センター職員・民生委員さんのほうからあった時は必要に応じて介護保険利用に繋げたり、相談に対応している。
- ・地域密着施設なので近隣在住の利用者さん優先にご利用をいただいている。
- ・ご近所の高齢ご夫婦の様子は常に気にかけている。昨年11月に奥様が入所しご主人が独居になったので時折訪問したり、外出の帰宅時施設に寄ることもあるので状況・安否確認をしている。

【前回の改善計画】

- ・コロナ禍 感染予防に注意しながら以前の生活に徐々に戻る様にしていく。
- ・馴染みのある近隣の地域に出かけていき買物・外食・散歩等行う。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・近所の方に見守りや訪問をお願いしても介護サービスが関わりだすと関係が希薄になる。
- ・地域に出ていくことは大切と思うが、利用者さんの心身状態をみると負担が大きい場合がある。落ち着いて過ごせていれば良いのではないかと思う。
- ・散歩は天候を見ながら近隣を短時間少人数で行った。良い気分転換になっている。
- ・外食に対しては新型コロナウイルス感染拡大の期間が長く実施できなかった。
- ・利用者さんはたわわに通いで家を出ること自体が良い刺激になっているので、通院以外の外出先との位置づけになっている。
- ・コロナ禍以降、積極的な地域との関りがなく、利用者、ご家族、スタッフ共内々で落ち着いてしまっている。

【改善計画】※後日記入

- ・感染予防に留意しながら以前の生活に戻るよう工夫をしていく。
- ・馴染みのある近隣の地域に出かけていき、買物・外食・散歩等行う。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	5	1	
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5		1
4	運営推進会議で出した意見を、改善につなげていますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議の報告でたわわの運営・利用状況は報告している。
- ・地域の役員さん（民生児童委員）から包括支援センター職員に相談しているケースは共有するようにしている。
- ・運営推進会議の提案や意見は定期ミーティングやスタッフの会話の中で話題にして、今後活かせるよう改善に繋げている。
- ・地域の困りごとや状況について会議の話題にはなるが、検討しても解決策までは行かないことが多い。共有は出来るだけ図るように努めている。

【前回の改善計画】

- ・運営推進会議時、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。
- ・地域の情報収集の場にしなが、何か支援できることがあれば協力していく。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進会議の開催は通年通りになり、情報共有も少しずつ多くなってきた。
- ・地域の中で起こっている事に対して介護施設として関わりが持てる場合は積極的にお手伝いをしていくようにしている。
- ・包括支援センターからの依頼で新規利用に繋がる事例がある。
- ・当事業所のサービスに何らかの理由で繋がらなかった場合は近隣の他事業所（小多機・看多機）を紹介して情報提供をしている。が、今年度はどこの事業所もスタッフ不足があり希望通りの利用に繋がらないケースも数件散見された。今後も起こりうることかと思う。

【改善計画】※後日記入

- ・運営推進会議時、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。
- ・地域の情報収集の場にしなが、何か支援できることがあれば協力していく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	2	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	1	4
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		6	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・BCPの策定は完了。スタッフの周知もミーティングや研修で行った。今後も引き続き緊急時・災害時の対応についての周知が必要なので研修会（年2回）の開催をしていきたい。
- ・自火報・非常ベル・スプリンクラーの使用方法をスタッフ全員が理解し万一の場合に備えていく必要があるので学習会等は引き続き行っていく。
- ・座学での確認学習は行ったが利用者さんを含んでの移動を伴う訓練はコロナ感染予防の観点から今年度も行えていない。
- ・災害時事業所が地域にどのような支援が出来るのか、検討していく必要がある。
- ・BCPのための備品（食材・水・暖房器具・発電機・非常用トイレ・寝具等）確保はできている。今後は担当者が中心になって年1回以上の点検見直しを行っていく。

【前回の改善計画】

- ・BCP（事業継続計画）の研修会等で全スタッフの意識統一を行う。
- ・災害時における地域の支援体制の確認を行う

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・感染予防のため密になる避難訓練は実施できなかったが、今後は計画をしていきたい。スタッフのみで自火報と非常ベルの扱いについての勉強会を行ったが忘れがちなので継続していきたい。
- ・避難訓練はいざという時大事なので定期的に行うようにしていく必要がある。今後は夜間想定訓練を計画し実施していきたい。
- ・夜間の災害時はスタッフが少ないので避難できるのか？不安はある。地域の協力体制を構築していく必要がある。
- ・地域との協力体制も考えていかないといけないと思うので、地区役員さんと連携を取っていくことが今後の課題。

【改善計画】※後日記入

- ・BCP（事業継続計画）の研修会等で全スタッフの意識統一を行う。
- ・災害時における地域の支援体制の確認を行う